いっちん子ども自然塾　　２月度活動報告

活動の目的　　農作業歳時記に従って、年間を通じて農作業を体験し、森の草木や生きものを観察し、自然とかかわることの楽しさと、自然環境の大切さを、こども達に学習してもらう。

1. 開催日時　2025年2月9日（日）　10時～14時30分　　曇　風あり（陽が射し暖かい時もあり）
2. 参加人数　参加者　14名　（欠席3名）
3. 行事内容　1　農作業;　氷割り、麦踏、ジャガイモの植え付け
　　2　里地の生活;　稲わらでナワをなう、縄跳び
　　3　森の学習；生きものたちの冬の過ごし方を観察

4. スケジュールと活動概要
　　10:00-10:15 挨拶、先月の活動、本日のスケジュール説明と注意事項
　　10:15-10:35 農小屋前の池で氷割り、麦踏
　　10:35-10:55 ジャガイモの特長などを説明、タネ芋の植え付け
　　11:00-11:55 稲わらを使ってナワをなう。作ったナワで縄跳び遊び、大縄跳びも
　　12:10-13:00 手洗い後昼食、あとは自由時間
　　13:00-14:25 冬を過ごす生きものを観察
　　14:25-14:30 今日の振り返り、来月の計画を説明、2025年度の塾生募集案内（チラシ配布済）
5. 活動補足と所見
　　・麦踏は、横歩きで丁寧に踏んだ。（比較的まじめに横歩き。中には足を引きずる子もいたが）
　　・ジャガイモを植える穴を深く掘るのは、力不足で難しかったようだ
　　芽が出やすいように、丁寧に植えた
　　・ナワナイは難しかったが、練習を重ねて、自己流も含め縄の形を作ることができた
　　一人飛びや二重飛びの他、何人かの縄をつないで、大縄跳びもできた
　　・昆虫など生きものの冬越しを観察するのは、人気メニュー！
　　モズの早贄、ハラビロカマキリの卵も観察、ヤマザクラの枝に残るメジロの巣、エノキの落ち葉にくっついていたゴマダラチョウの幼虫を見つけ観察し、いろんな生きものの冬の過ごし方を学んだ

6. 活動風景　　氷割りは、やはり楽しい！

麦踏

ジャガイモ植え付け

ナワナイに奮闘中

作ったナワで縄跳び

ナワをつないで皆で大縄跳び

エノキの葉裏のゴマダラチョウ幼虫を見つけ！

生きもの観察（枝に残るモズの早贄を観察）